

コンセプト

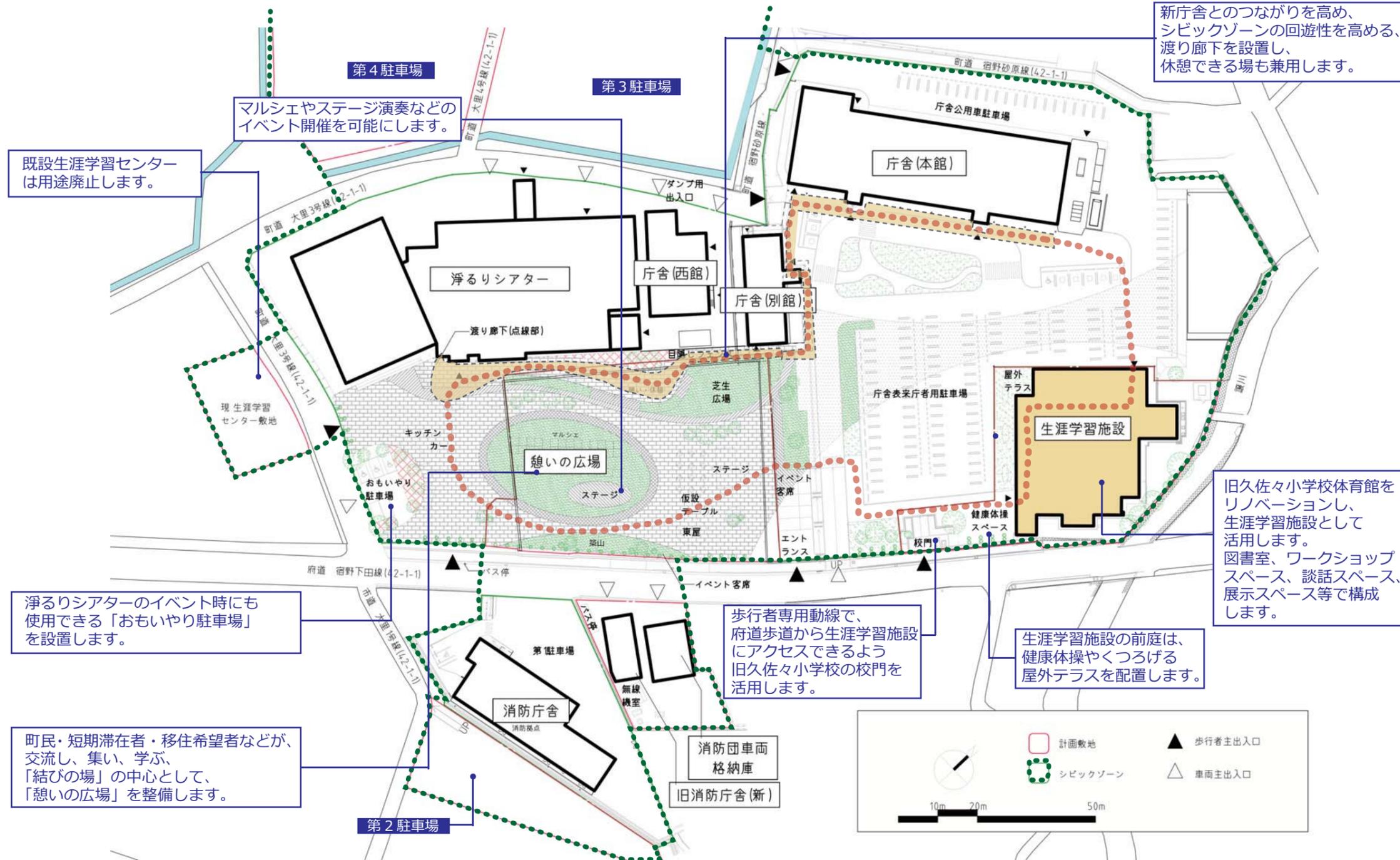
本町の旧庁舎周辺整備を検討するにあたり、本町の既存・将来の施設を見通し、町の中心であるシビックゾーン（役場周辺の公共施設エリア）を
町民・短期滞在者・移住希望者などが、交流し、集い、学ぶ「結びの場」として位置付けます。

施設整備の概要

町民等の「結びの場」として、旧庁舎跡地を「憩いの広場」とし、加えて中核施設として旧久佐々小学校体育館をリノベーションし生涯学習センター機能を移転した「生涯学習施設」を一体的に整備します。

配置計画（改修後のイメージ）

「憩いの広場」及び「生涯学習施設」を中心に回遊性により各施設の機能を「結ぶ」シビックゾーンを創ります。



概算事業費・スケジュール

①概算事業費

- 旧庁舎解体撤去
解体撤去に係る概算事業費は、約250百万円を見込みます。
- 整備費
主な整備内容は、「生涯学習施設」及び「憩いの広場」となります。
概算の整備費用は、約750百万円を見込みます。

②スケジュール

従来手法による事業スケジュールは、令和5年度から令和8年度末までの4年間と想定しています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
旧庁舎解体調査設計	■			
旧庁舎解体撤去工事		■		
「生涯学習施設」及び「憩いの広場」基本・実施設計		■		
上記整備工事				■

鳥瞰図



シビックゾーン南東側より

アイレベルパース



おもいやり駐車場より



渡り廊下より



旧久佐々小学校校門より